



# コロナ変異株の怖さ 若い世代はもっと注意を 加納総合病院理事長に聞く

日本で最初に新型コロナウイルスの感染者が確認されてから約1年半。医療の最前線はどんな状況だったのでしょうか。加納総合病院(天神橋7)の加納繁照理事長にお話を伺いました。

## 北区で最初に入院受入れ



— 加納総合病院は北区で最初にコロナ感染症患者の入院を受け入れたそうですね。

2020年3月3日に、救急入口の外にテントを張って「発熱外来」を設けました。コロナ感染の有無で患者さんの動線を完全に分離しました。入院受入れは4月からです。

先立つ2月には、集団感染があったクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス号」に日本の民間病院協会が組織したAMAT(災害時医療支援活動班)として当院からもスタッフを出動させる準備をしていました。

2009年の新型インフルエンザ流行を教訓に、ウイルスの

外部流出を防ぐ病室用陰圧装置を6基備え、マスクや防護服の備蓄もありましたので早期対応が可能だったのです。



加納総合病院の加納繁照理事長

— コロナ対応の病床数は？

現在は20床。中等症・軽症用です。うち17床は、回復期リハビリテーション病棟(48床)を丸ごとコロナ専用病棟とし、1床はHCU(高度治療室)、2床はパーテーションで他の病室と完全に分離できる病室を使っています。

## 重症者急増した第4波

— 今年3月からの「第4波」で大阪はコロナ病床の逼迫が深刻でした。加納総合病院にも影響はありましたか？

重症者用の病床が足りず、当院も重症者を受け入れました。ピーク時は1日に5人にもなりました。

第4波は第3波までとはまるで様相が異なりました。第3波までの入院患者はほとんどが60歳代以上の高齢者でしたが、第4波は40〜50歳代が増えました。30歳代以下、特に10歳代の感染も急増しています。変異株ウイ

ルスは感染力が強く、重症化しやすい。若くても重症化する例が増えていきます。

— 「医療崩壊」が心配です

コロナ病床が逼迫し、困難な時期があったのは事実ですが、医療全体が崩壊したわけではありませぬ。当院は入院治療を必要とする急性期患者を24時間受け入れる第2次救急医療機関ですが、救急車の受入れはコロナ禍以前と同じペースです。一般医療への影響を防ぐには、コロナ重症者を増やさないことが重要です。

## ワクチンの効果に期待



— 感染拡大防止のために、区民一人ひとりは何をすればいいでしょうか？

正しくマスクを装着する、手洗いを徹底する、3密(密集・密接・密閉)を避ける。非常に基本的なことですが、この基本を守ってください。



マスクなしのおしゃべりは避けてほしい。宴会などでクラスターが発生する要因です。

特に若い世代には変異株の怖さを認識して注意していただきたいのです。第3波までは若年層に死者はほとんど出ませんでした。第4波では30歳代の方



発熱患者は病院に入る前にプレハブの発熱外来へ。コロナ感染の有無で動線を徹底的に分けている

も亡くなりました。今、気を緩めてはいけません。

— ワクチンには有効ですか？

コロナワクチンの発症予防率は約95%と報告されています。インフルエンザワクチンの発症予防率が50%ほどと言われていますから、コロナワクチンの有効性は高いと言えます。

— 全世代にワクチン接種が完了すれば、マスクなしの生活に戻れるでしょうか？

ワクチン接種が進んだ欧米ではマスクなしを認める国や地域もありますが、日本では厚生労働省が接種後もマスク着用などの感染防止策を継続するように呼び掛けています。まだ接種率が低いこと、接種した人から他への感染をどの程度防げるかなどが分かっているからです。



接種が進めば重症者が減ってコロナ病床逼迫が解消、医療環境は安定するでしょう。自分を守るために、そして地域医療を守るためにもワクチン接種は大切です。

マスクなしのおしゃべりは避けてほしい。宴会などでクラスターが発生する要因です。特に若い世代には変異株の怖さを認識して注意していただきたいのです。第3波までは若年層に死者はほとんど出ませんでした。第4波では30歳代の方

かのう・しげあき  
1955年生まれ。医学博士。一般社団法人日本医療法人協会の会長も務める。

## みんなの夏祭り

恋しい夏の風物詩  
それぞれの思い出は？

大淀中・神社宮司  
岸本恒夫さん  
(60代・男性)

うちの夏祭りは地域の皆さんの手作り。毎年、こんなに地域に人が住んでいたのかと驚くほど賑わっています。



30年以上前から、境内に並ぶ屋台は露店商ではなく地元町会が出店。4年前には氏子青年会が軽トラを小さなだんじりに改造し、だんじり囃子を演奏してくれます。今年も神事のみを執り行いますが、やっぱり賑わいが恋しいですね。

済美在住・北区地域  
女性団体協議会相談役  
栗澤イツ子さん  
(80代・女性)



北区は地域の女性会、ことに異なるデザインの浴衣があります。これまで着たデザインの中で特に気に入っているのは、数年前に作った「ひよっこ柄」の浴衣。黄と紺が夜に映えて華やかでした。みんなで揃いの浴衣を着て、一晩で3地域の盆踊りをはしごすることも。食べて飲んで、ほろ酔いで踊るのが、30年以上からの夏の楽しみです。

菅南在住・  
菅南連合振興町会会長  
後藤孝一さん  
(70代・男性)



父の代から天神祭で道真公の御神霊を奉安する御鳳講講(こほうれんこう)のご奉仕をしています。高校生の頃から手伝って60年近く。若い頃は神輿に乗って陸渡御(りくとぎよ)に出たり、一般の方を乗せた船の上でマイクを持って案内役をしたりもしました。根っからの祭人間なので、今年の夏も寂しい。時々、昔のアルバムを見返して懐かしんでいます。

中之島在勤・会社員  
松田裕佳さん  
(30代・女性)



8月下旬に開催される「中之島なつまつり」が大好き。当日は計画的に仕事を終わらせて、大学の友人と一緒に会場のグランキューブ大阪へ直行します。近くの飲食店やホテルが出す露店グルメも魅力的ですが、色々な人たちが思い思いに踊れる雰囲気最高。来年こそは中之島で盆踊りを踊りながら、夏の終わりを噛み締めます。

## Instagramの投稿募集

「私の好きな北区」「みんなに教えてあげたい北区」の写真や動画を募集しています。ハッシュタグ「#キタフレ」「#kitakufriend」をつけてInstagram (Instagram) に投稿してください。素敵な投稿を北区役所公式Instagram (@kitaku\_osaka) や「わがまち北区」紙面でご紹介します。



pole\_1997さん  
#キタフレ  
#犬の散歩  
#浦江公園  
#梅雨が長いからか  
#苔が生えてきた  
#大台ヶ原と変わらない(笑)  
#蝉の鳴き声  
#むっちゃ大きい  
#スマホでじゅうぶん



junyejiuzheさん  
#雲  
#夏空  
#淀川  
#淀川河川敷  
#淀川河川公園  
#キタフレ  
#kitakufriend

地域SNSアプリ「ピアZZ」に、「みんなの夏祭り」を投稿しよう!

ピアZZ 大阪市北区 検索